

大会宣言文

私たちは、第1回全国大会開催地であるこの倉敷市に集い、「いま、なにが大切か！～人間にとって、都市にとって～」をテーマに、真剣に語り合いました。

第1回大会から今日までの四十年間に時代は大きく変わりました。その中でも、私たちがいま最も恐れているのは、温暖化、異常気象などに象徴される「地球環境」の悪化です。

世界の国々、特に主要国がこの問題を軽視していたら、人類には間違いなく「絶滅」の悪夢が訪れるでしょう。

ひとりの人間として私たちができることは限られています。

でも、世論の喚起、身近な省エネなど、能う限りの努力は続けなければなりません。全国市民憲章運動連絡協議会唱和文の短い文章の中に「地球環境」のことばが入った意味もそこにあります。

地球環境が守られ、人類が生存し得てこそその経済であり、国であり、歴史であり、文化です。

一人ひとりがその自覚を持ち、小さな活動を続けることを誓い、ここに宣言します。

平成19年10月20日

市民憲章運動推進第42回全国大会



次期開催地あいさつ



福知山市副市長
山段 誠

皆さん、こんにちは。よい法被を着て出てまいりました。これは福知山市市民憲章推進協議会の法被でございます。

この倉敷大会はすごかったですね。感動いたしました。宇宙の話まで聞かせていただいて、さすがすごいなと感心しきりでございます。市民憲章では、倉敷市さんはトップランナーですね。私たち福知山市は、周回遅れですけれども、まず本当に素晴らしい大会を持っていただきました倉敷市の関係者の皆さんに、心から厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

しかし、周回遅れのランナーにも一抹の根性がございます。何とか皆さんの支援を受けまして、来年必ず素晴らしい全国大会にしたいと思えます。福知山市が、全国大会をしたいと思いました理由が3つございます。

1つ目には、この全国大会は42回を迎えておりますが、今まで近畿圏での開催が一度もないということをお聞きしました。こんなことではいかんなどということ、人口8万4千人の小さい福知山市でございますけれども、全国大会に名乗りを上げさせていただいたということでございます。近畿初でございますので、たくさん来ていただきたいと思えます。

2つ目の理由は、市制を施行して70周年になりますと同時に、市民憲章推進協議会ができて15周年になりまして、今日この裏に幕が開きますと、何とか福知山市で全国大会をというすごいエネルギーで、40人ほどの市民憲章の方たちが法被を着て来て来ております。「しっかりせえ」と、「行政も頑張れよ」というふうに応援に来ていただいております。

3つ目の理由は、福知山市平成18年1月1日に合併しましたけれども、編入方式ということで、市民憲章は福知山市の憲章をそのまま継承することになりました。しかし、本当に1市3町が一体になって進めていくためには、本当の市民憲章にしていく必要があります。ですから、ぜひ来年福知山市で全国大会をしていただきまして、より一層市民憲章を盛り上げていくような大会に、皆さんとともにしていただきたいと思えます。全国発信する素晴らしいものは何もありませんけれども、市民憲章に対する熱き思いが感じられる、市民一緒になっての大会にしたいと思えますので、皆さん必ず来てくださいね。よろしく願いいたします。

もう一点だけ、福知山市は明智光秀の関係で、福知山に来たときには明智光秀の悪口を言わないでください。明智光秀は福知山を発達させてまちをおこしてくれた方です。経済を興してくれた方です。税金を免除して、水問題を解決してくれた明智光秀が福知山城を築くときに、命令してつくりました。民衆が一生懸命つくりました。そのときに、重たい石や重たい木を運んで、「どっこいしょ、どっこいしょ」と言って運んだのが、「ドッコイセ」という福知山踊りの起源でございます。今回、協議会の方たちが来年のパンフレットもつくっていております。この期間中には、ちょうどドッコイセ踊りでございます。福知山踊振興会の方も、今日来ていただいております。皆さんの前で踊りを見せませう。来年は、皆さん一緒に踊りましょう。必ず来てください。よろしく申し上げます。



全国大会福知山大会実行委員長
前田 秀和

皆さん、こんにちは。私は、第43回全国大会福知山大会の実行委員長を仰せ付かっております前田秀和と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

時間の都合もございますが、私のほうから福知山大会の概要を御説明させていただければと思っております。

日時につきましては、非常に暑い時期ではございますが、8月22日金曜日から24日日曜日の3日間、大会テーマ『共に幸せを生きる ～市民憲章からひろげる「ひとづくり・まちづくり」』と銘打って開催させていただきます。

私たち福知山市市民憲章推進協議会は、72団体と10人の個人から構成されておまして、日々さまざまな活動を展開いたしております。福知山大会では、協議会の加盟団体の方々のみならず、福知山のまちのことを思って日々活動されている市民の方、また学生の方々にもスポットを当てまして、会場を通常であればこういう施設の中でという考え方があろうかと思いますが、福知山の場合は、福知山のまち、市街地で開催させていただくべく、加盟団体一丸となって計画を進めております。

それと当然、記念講演や討論会、そしてまちづくりの実践発表という部分では、加盟団体の方々、市民の方のこれまでの取り組みや今後の活動を福知山のまちを舞台として、全国の方々に発表し、そして皆さま方に発信をしてまいりたいと考えております。また23日土曜日、これまで違う日程で開

催させていただいていました、先ほど副市長からお話がありましたが「ドッコイセ祭り」と、ペットボトルの灯籠で光の空間を演出しております、「三日天下」のコラボレーションを福知山の市街地と、私たちのシンボルのひとつであります福知山城一帯で開催する予定にいたしております。皆さま方、ぜひとも御参加いただきたいと思っております。

それでは、先ほど御紹介させていただきました、「ドッコイセ、ドッコイセ」こちらの福知山踊りを御覧ください。

<福知山踊り 福知山踊振興会>

それでは、皆さま方のお越しをお待ちいたしております。御声援どうもありがとうございました。



福知山市の皆さん



福知山踊振興会の皆さん

お礼のことば



財団法人あしたの日本を創る協会理事長
高岡 完治

皆さま、本当にありがとうございました。いよいよもう、閉会のときを迎えることになりました。全国各地から御参会いただきました会場の皆さま方、また倉敷市民の皆さま方、本当にありがとうございました。素晴らしい全国大会になったと思います。分科会を開いてくださるなど、今までにない新しい全国大会の持ち方を大変工夫していただきながら、用意していただきました倉敷市民憲章推進協議会の室山会長さんをはじめ、市役所、スタッフの皆さま、市民の皆さま、心から厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

また、それにいろいろとお力添えをくださいました会場の皆さま方、熱き思いと御協力に重ねて厚くお礼を申し上げまして、お礼のことばとさせていただきます。本当にありがとうございました。

閉会のことば



全国市民憲章運動連絡協議会顧問

三田 望

皆さま、この倉敷の全国大会はいかがでございましたか。

[拍手]

ありがとうございます。昨日から、役員会やそれに続く会員皆さまの交流交歓会、そして今朝からは総会、分科会がありました。分科会も環境問題・まちづくり・市民憲章運動と、いずれもわれわれにとって大変重要なテーマでございましたが、この分科会を2時間という時間をたっぷり使いまして、皆さんでいろいろ考えていただきました。そしてただ今は、室山NHK解説主幹さんの「宇宙から見た地球環境」ということで、普段われわれはなかなか目にしたり、お聞きしたりすることがない視点から、今のわれわれが置かれている現況を大変グローバルな視点から御示唆をいただきました。

非常に盛りだくさんで、内容の濃い倉敷大会でございましたし、先ほどおっしゃったように新たな倉敷らしいといいますか、第1回の倉敷大会を開催した倉敷だからこそという素晴らしい試みも随所に見られました。大変中身の濃い、盛り上がった大会だったというふうに、われわれも感じております。

ここで得た教訓、あるいはお話ししあった中身をそれぞれ地元を持ち帰りまして、何らかのかたちで生かしてくださるように、あらためてお願い申し上げたいと思います。

また来年は、福知山さんでございます。大変元気のいい福知山さんの「ドッコイセ音頭」を見せていただきました。どうか皆さん、来年は福知山でお会いしましょう。よろしく願いいたします。

それでは、これを持ちまして、市民憲章運動推進第42回全国大会倉敷大会を閉会させていただきます。皆さん、どうもありがとうございました。

分 科 会

環境問題

司 会 者 福知山市市民憲章推進協議会 副会長 谷 垣 修 身 氏
助 言 者 岡山大学資源生物科学研究所 所 長 武 田 和 義 氏

◎事例発表者◎

JFEスチール株式会社 西日本製鉄所
環境管理部 倉敷環境・防災室主任部員（課長）
滝平 憲治 氏

JFEスチール株式会社西日本製鉄所は、地球環境を重視し、大気や水質などの環境保全に努めるとともに、徹底した省エネルギー活動を展開しています。

- 1 CO₂削減（京都議定書、鉄連自主行動目標）について
- 2 大気、水質、廃棄物にかかわる取り組みについて

鷲羽山の景観を考える会
事務局長 岩中 正則 氏

「鷲羽山の景観を考える会」は、ふるさとの誇りともいえる鷲羽山を後世にまで守り伝えていくことこそ、我々現代に生きる者の使命と考え、地域の財産である鷲羽山で清掃活動や樹木の剪定、また自然教室などを実施しています。これらの活動を通じて現在の子どもたちや地域住民そして鷲羽山を訪れる全ての人に、そのすばらしさや大切さを理解していただければと考えます。

まちづくり

司 会 者 倉敷市民憲章推進協議会 会 長 室 山 貴 義 氏
助 言 者 計画哲学研究所 所 長 三 輪 真 之 氏

◎事例発表者◎

倉敷屏風祭実行委員会
委員長 岡 莊一郎 氏

- 1 倉敷屏風祭の経緯
- 2 倉敷屏風祭の基本コンセプト
- 3 まとめ
「まちづくりは、ひとづくり」
- 4 くらしきTMOの今後

NPO法人倉敷町家トラスト 代表理事 中村 泰典 氏

テーマ：だれがまちに灯をともしのか？

先人の残した歴史的、伝統的な郷土の風景やたたずまいは、市民はもとより国民の誇りと歴史資産として、未来に引き継ぐ責務があります。

行政、商工業者、企業、大学、NPO、地域住民、地域外のふるさとに思いを寄せるものたち、そして地域を訪れる旅人がどのようなしきみで地域資産を掘り起こし、活用してゆくの？だれがまちに灯をともしのか？

市民憲章運動

司 会 者 花巻市市民憲章推進協議会 会 長 三 田 望 氏
助 言 者 (財)あしたの日本を創る協会 理 事 長 高 岡 完 治 氏

◎事例発表者◎

・ ・ 市企画政・部 ・ ・ ・ 画まちづくり課 市民協働係長 杉田 とき子 氏
水沢まちづくり運動協議会 事務局長 村上 ・ ・ 氏

- テーマ
- 1 市民憲章の意義・目的は何か。
 - 2 市民憲章の位置づけや役割は何か。
 - 3 市民憲章の対象は誰か。
 - 4 どんな風にして市民憲章を作っていけばよいか。
 - 5 市民憲章をどう活かしていくか。